

越野運送

情報共有と会社アピール

【大阪】越野運送（越野泰弘社長）はこのほど、本社2階に広報ビジョンを設置した。越野グループ社員の情報共有につなげるツールとして、今後は様々な情報や写真を流していく。

同ビジョンは、日頃から顔を合わせることもない従業員を知ってもらうため、各営業所の従業員や社内イベント、慰安旅行などの写真をスライドショーで流している。以前から越野社長が考えており、今回実行したという。写真は1か月ごとに交換していく考えだ。

河野守忠営業部長は、「グループの従業員が顔を合わせる機会がなく、社内でも知らない人が



広報ビジョンを設置

いることもある。少しでもグループ全体のことを従業員に知ってもらうために設置した」と話す。

また、来客にも自社の取り組みや従業員のことを知ってもらい、「社内の雰囲気ができるだけ伝えられるように取り組んでいる。今後も工夫していく」とし、会社のアピールやイメージアップなどでも活用していく予定だ。

「新入社員が入った際、従業員の顔を覚えられる。それだけでなく、ビジョンを見ることで従業員同士の刺激になるようにしていきたい」とし、「しっかりとモチベーションを上げて、従業員と一緒に仕事に取り組んでいく」と語る。

（中村優希）

（レイアウト・北村智子）